



こうめいたちかわ 通信



立川市議会議員 高口靖彦
電話・FAX 534-0267 柏町在住
E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com
<http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi>

令和3年 第1回 定例会

★令和3年度立川市一般会計予算等を可決

令和3年第1回定例会が2月18日から3月22日までの会期で開催されました。初日に市長から令和3年度予算について、財政状況、新たに行う施策などの説明がされました。立川市一般会計予算は778億9600万円、前年度比14億円、1.8%の減、4年ぶりの対前年度比マイナス予算となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、市民税が前年度比、約13億円のマイナスとなっていることが大きく影響しています。

また競輪事業、国民健康保険事業、駐車場事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の5つの特別会計を含めた予算総額は、1,307億7千万円になります。

令和3年度の国民健康保険の保険料改定を昨年度に引き続き行わないことから、一般会計から特別会計への繰出金が約7千万円増額しています。

令和3年度

特別会計
予算及び事項別明細書

競輪事業
国民健康保険事業
駐車場事業
介護保険事業
後期高齢者医療事業

立川市

高口やすひこの代表質問から(要旨)



★更なるICT活用と行政デジタル化についての推進は？

＜答弁＞ 新たな技術の導入とともに、業務体制の変革や行政手続きの簡素化を積極的に進める方向を経営方針として示した。電子マネー収納の導入や、キャッシュレス決済の検討、窓口等でタブレット端末を活用して手書きによる申請の負担を軽減していく。(市長)

★公共施設再編計画策定と、玉川上水駅周辺のまちづくり構想は？

＜答弁＞ 交通結節機能を活用したにぎわいと魅力のある商業空間など、日常生活を支える都市機能の集積に加え、文化芸術等の地域特性を生かした地域の拠点とした形成をしていく必要があると考えている。(まちづくり部長)

都議会公明党の実績

都議会公明党は、コロナ禍において、度重なる都知事への緊急要望、各定例会等においての代表質問等で、数多くの実績を挙げてきました。その一部をご紹介します。



子ども一人 10万円分の**出産応援事業**を創設

都内の出産費用が全国平均を大幅に上回っていることを考慮し、コロナ禍で子どもを産み育てる家庭が支援されます。子ども一人あたり 10 万円の子育て支援サービスや育児用品等が提供されることとなります。令和 3 年 1 月 1 日以降の出産が対象です。



都認可外の通信制高校の**授業料実質無償化**を実現

都議会公明党はかねてより、これまで多くの都民が通っていないながら、都独自の特別奨学金の対象から外されていた都認可外の通信制高校についても、この対象に加えるよう繰返し要望してきました。本年 4 月から都認可の通信制高校同様、都在住生徒の授業料の実質無償化を実現することで教育機会の格差を解消することができました。



肺炎球菌ワクチン接種で高齢者の自己負担を軽減

都議会公明党は、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について、区市町村が自己負担を軽減しているものの、接種率が 3 割程度にとどまっていることを踏まえ、都として補助を検討するよう提案。さらに自己負担分を軽減するため都が 2,500 円を補助します。



医療従事者の**特殊勤務手当**を大幅に増額

都議会公明党は小池知事に対し、医療現場で奮闘されている医療従事者の特殊勤務手当を引き上げるよう繰返し要望。このほど、民間医療機関等及び都立・公社病院に勤務をしている医療従事者を対象に、現在の 1 日当たり 3 千円から 5 千円に増額することが決定。令和 3 年 1 月 8 日に遡及して適用になります。



行政手続きの**オンライン化**を加速

都には年間約 1,100 万件の申請が出されていますが、都の主要な許認可手続きの中で、都の権限で方法が変更可能な 119 の手続きのうち 102 の手続きを、令和 3 年度中にオンライン化します。また都議会公明党が求めてきた都営住宅申込みをオンライン化し、結果もオンラインで通知するシステムが令和 3 年度中に構築されます。



コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望が実現

コロナ禍の影響による様々な理由で、生理用品を購入できない女性を支援するため、立川市では、必要とする市民等に生理用品を無償で配布するとともに、相談支援窓口の案内を同封し、女性を取り巻く諸課題への対応を図ります。

今、世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となっています。日本でも無関係ではなく、貧困やネグレクトにより保護者等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘があります。誰一人取り残さない社会を実現するために、1日も早く、このような女性の負担軽減に取り組んで頂くよう、過日、清水庄平立川市長に申し入れ、緊急要望していたものです。



Sanitary goods for you

- *声にださなくて大丈夫です
- *このカードを窓口にご提示ください
女性職員がお渡しいたします
- *お名前などはお聞きしません



配布場所はウラ面 ▼

立川市

避難所の防災倉庫へ液体ミルクを装備

災害時の避難所では、お湯の確保や哺乳瓶の洗浄が心配されることから、そのまま飲める液体ミルクが備蓄されることになりました。公明党は一貫して防災倉庫へ液体ミルク備蓄を求め、令和3年度予算で備蓄されることが決定しました。



胃がん検診に内視鏡検査が導入されます

これまでエックス線検診（バリウム検査）のみだった胃がん検診に、内視鏡検診が導入され、受診者がどちらか選択できるようになります。公明党は胃がんリスク検査（ヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無等）を実現するなど胃がん対策に注力、内視鏡検査の導入も長年にわたり求めてきました。



TOKYO GLOBAL GATEWAY (英語村) の体験事業を小学校全校で実施へ



グローバル社会の中で必要な英語力を含むコミュニケーション能力の基礎を培うため、小学校6年生を対象に、体験型英語学習施設「東京グローバルゲートウェイ (TGS)」の体験事業が小学校全校で実施されます。公明党は、多くの小中学校で実施するよう求めてきましたが、先ず小学校全校での実施となります。

次期衆院選に挑む

東京都ブロック



河西宏一

党青年局次長、都本部副幹事長
東京大学卒。41歳



高木陽介

党国会対策委員長、都本部代表
元経産・内閣府副大臣。61歳

次期衆院選に挑む公明党の比例区(東京都ブロック)予定候補を紹介します。



©KOMEI TO

ボイス・アクション 若者の声、政治動かす大きな力に

“イネ!”と思う政策に投票してください。
※複数選択可能

- 通信の「^{しつだか}質高”“大量ギガ安”社会に!
- あなたの奨学金返済「肩代わり」を全国展開!
- 結婚、妊娠・出産、子育て“丸ごと”サポート!
- 一人一人に寄り添った「心のケア」を推進!
- ネットの誹謗・中傷は根絶させる!

現在までに頂いた声 VOICE 147572 voices

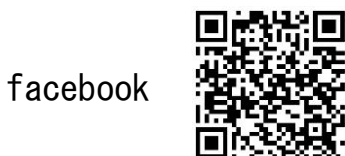
送信

若者の声を政治に反映するために公明党青年委員会が実施している政策アンケート活動です。今を生きるあなたの声を、希望あふれる未来につなげます。1000万人以上もの若者の声をもとに、これまで多くの政策が誕生しました。

こちらのQRコードから是非ご参加下さい。



SNS等で、高口やすひこの日々の活動の様などを情報発信しています。是非ご覧ください!



facebook



twitter



LINE



Ameba

身近な法律相談を実施しています

《公明党無料法律相談》

- ・毎週水曜日(第5週を除く)14時から
- ・立川市錦町1-4-4 立川サニ-ハイツ301
- *予約制です。



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい!

◆議会運営委員会委員長 公明党立川市議団幹事長

公明党立川総支部 発行